

(様式第15号)

保険料下限額の引下げ要件不該当届出書 (令和4年1月1日以降 35歳未満通常加入者用)

処理コード	
3411	05
3411	06
3411	07

独立行政法人
農業者年金基金
御中

私は適用を受けていた加入要件が、以下により不該当事由に該当したため、独立行政法人農業者年金基金法の規定により以下について届出ます。併せてこれまで適用を受けていた保険料をうけることのできる要件が不該当の対象となった月以降の保険料について下記により申出ます。

提出年月日
令和 4 年 6 月 5 日

記入方法

記入方法をよくお読みになり、
黒のボールペンで、楷書で
記入してください。

不 該 当 届 出 書	(1) 農業者年金 被保険者証の 記号番号	(記号)	1 2 3 4 5	(番)	6 7 8 9 0	(号)	1 2 3 4 5		
	(2) 被保険者氏名	(フリガナ)	ノウネン タロウ						
			農年 太郎						
	(3) 生年月日	昭和 平成	2 3	年	6 3	月	0 4	日	1 5
	(4) 住所	郵便番号	1 2 3 - 4 5 6 7	(フリガナ)	トウキョウト ミナトク ニシシンバシ 1-6-21				
			東京都 港区 西新橋 1-6-21						
(5) 不該当となった事由が生じた年月日	令和 4	年	0 4	月	0 5	日	3 0		
不 該 当 事 由	42	認定就農者であり、青色申告者となった。(政策支援区分2相当)							
	43	経営主と家族経営協定書を締結した。(政策支援区分3相当) 配偶者							
	44	経営主と家族経営協定書を締結した。(政策支援区分3相当) 直系卑属							
	45	認定農業者となった。(政策支援区分4相当)							
	46	青色申告者となった。(政策支援区分4相当)							
	47	経営主から後継者指定を受けた。(政策支援区分5相当)							
	82	35歳に到達した。							
83	その他(□加入時より該当しなかった。 □その他())								

(6)の事由によって、保険料下限額の引下げ要件が不該当となった年月日を記入してください。

保険料下限額の引下げ要件が不該当となった事由について、該当する項目に○をしてください。

2万円~6万7千円までの千円単位で記入してください。

(通常保険料の申出欄)

(7) 通常加入欄	保険料月額	2 0 0 0 0 円
-----------	-------	-------------

(翌年以降の前納申出欄)

(8) 翌年以降の保険料の前納	<input checked="" type="radio"/> 1. 申し出ます	<input type="radio"/> 2. 申し出ません
-----------------	---	---------------------------------

(注):届出時期によっては、翌々年から保険料前納となります。また、翌年60歳を迎えられる方等は前納納付を選択することはできません。未記入の場合は、前納を希望しないものとして取扱います。

※ J A 記入欄		※ 受付印	TEL - -
-----------	--	-------	---------

★ 農業委員会記入・確認欄	この申出を行った者は農業者年金被保険者資格を有することを確認しました。 令和 年 月 日	★ 受付印	TEL - -
---------------	---	-------	---------

× 基金記入欄		×	
---------	--	---	--